

第5学年国語科「長年愛される物語の魅力について伝え合おう ～『大造じいさんとがん』～」

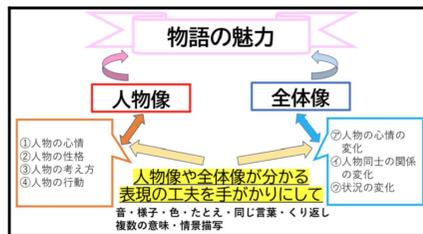
学習指導者 小出 早織

『大造じいさんとがん』が長年教科書で扱われていることを知り、その理由について疑問に思った子供たちは、「物語の魅力を見つけて、友達と伝え合おう」という単元の目標を設定しました。そして、前単元での学習から、人物像と物語の全体像を想像していくと魅力が見付かったことを想起し、必要な学習を考えながら、残り時間を見て、役割を分担をして進める学習計画を立てました。

四場面までの人物像や全体像を考えよう

【見通し】

前時の学習を振り返り、三場面までの人物像や全体像について確認し、本時の課題を決めました。その際に、単元の目標を確認することで、課題を解決する目的を再確認し、課題解決への意欲を高めました。課題を設定した後は、「これまでに獲得した国語の技から使えそうなものを選ぶ」という方法を用いて、これまでの学習経験を基に、使えそうな技を選択して解決の見通しをもちました。



【行動】

班で人物像と全体像の観点を分担した後、同じ観点の友達と小グループを作り、想像したことを付箋に書きながら考えを交流しました。班に戻った後は、班で一枚のワークシート上に観点ごとに色分けした付箋を貼りながら、「残雪に対して言った会話文から、大造じいさんは、正々堂々とした人だと思うな」「残雪だからこそ、そう考えたのかもしれないね。一場面から比べると二人の関係が変化してきていると思ったよ」などと、二つの観点を関連させながら想像したことを伝え合いました。全体交流でも、複数の叙述を関連させながら、人物像や全体像について話し合い、考えたことをワークシートにまとめました。



【振り返り】

学びチェックの欄に使った技の記号と、参考になった友達の名前を記すようにすることで、自分の取り組み方やそのよさを捉えることができました。そして、友達から学んだと感じている姿の具体を全体の場で取り上げることによって、自分が友達の学びに貢献していることを感じていました。その後は、次に取り組むべき課題について問いかけることで、次の活動の見通しをもつことができました。

友達と交流し、納得のいく考えを伝え合う。

学習を振り返る。

自分で、友達と一緒に！

四	三	二	一	学びチェック
○○○	○○○	○○○	○○○	④①
②④⑦①	②④④①	⑦①④③	○	
ささ	さん	さん	さん	
んん				

成果と課題

○二つの観点を分担し、ジグソー型学習で人物像と物語の全体像について想像したことを話し合ったことで、想像する際の根拠となる叙述が焦点化され、物語の魅力につながる人物像や全体像について想像を広げることができた。

▲班での話し合う際に、より分かりやすい話し合う手順や具体例を示すなどの手立てがあれば、物語の魅力につながる人物像や全体像についてのさらに想像が深まった。